



かわむら小児科

# モ〜モ〜くらぶ



2021年

[http:// kawa-shoni.com/](http://kawa-shoni.com/)

## 子どもの皮膚の病気

### 【とびひ(伝染性膿痂疹)】

虫刺されや湿疹、あせもなどを触って細菌が入って感染を起こし、それを爪で引っかいたりして広がる皮膚の病気です。ブドウ球菌や溶連菌が多く、最近のブドウ球菌は MRSA という抗菌薬の効きにくい菌が増えてきています。治療は抗菌薬の内服と塗り薬になります。爪を短くしておくこと、手を石けんで良く洗うことが重要です。

### 【あせも(汗疹)、あせかぶれ】

汗の出る汗腺(かんせん)の出口が、汗やほこり、アカでふさがってしまい、汗が皮膚の中に溜まって炎症を起こすものです。子どもは大人と汗腺の数は一緒です(密にある)、新陳代謝が活発で汗をたくさんかくのであせもになりやすいのです。赤いあせも(紅色汗疹)と白いあせも(水晶様汗疹)の2種類があります。あせもと間違えやすいのですが汗でかぶれている湿疹もよく見かけます。

### 【あせものより、あせものおや(汗腺膿瘍)】

汗腺にブドウ球菌などの細菌が感染して、赤くふくれてしこりみtainのができる病気です。汗をかきやすい額や後頭部に良くできます。抗菌薬の内服で治ります。

### 【水いぼ(伝染性軟属腫)】

ウイルスでうつる白く小さいいぼです。さわると周りの皮膚に広がりますが、プールやお風呂の水でうつるわけではありません。皮膚同士が触れたり、タオルやビート板を共有するとうつることがあります。治療はピンセットでつまんで採るしかありません。採ってもまたできることがあります。放っておいても1年ぐらいしたら免疫ができて治ります。最近では市販の薬ですが水いぼに効く軟膏もあります。

## 「イヤイヤ」は成長の証し

幼い子どもが「イヤ」「ダメ」などを連発してぐずりがちな時期は、「イヤイヤ期」と呼ばれ、大人には悩みの種ですが、子どもにとっては重要な成長過程です。「イヤイヤ期」は子どもが本当にやりたいことを探し回る「自分探し」の時期で、言葉を操れるようになると、好き嫌いが頭の中できちんと整理され落ち着きます。

### 「イヤイヤ」への対処例

- ★イヤという気持ちを「イヤなんだね」と声に出して繰り返し話しかけ受け止める
- ★「靴はいてみる?」「右と左どっちから履く?」と子ども自身が選べるようにする
- ★泣きわめく時には同じように泣きまねをしてみせる
- ★今は何事にも時間を要すると考え、余裕をもって予定を組む

「イヤ」という気持ちを周囲に受け止められた子どもは、「イヤと言っていい」と思えるようになります。こうした関わりを通じて適切な自尊心を身に付けて成長すると、きちんと意思表示できるようになります。

「ゆっけ」

### ……感染症情報(8月1日現在)……

- ★RSウイルス、パラインフルエンザと思われる冬のかぜが少し見られます。どちらも熱が4~5日と咳が続きます。
- ★ヘルパンギーナという夏かぜも少し見られるようになりました。

## 休診のお知らせ

8月13日(金)・14日(土) お盆休み  
8月21日(土) 学会出席のため